

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県加美郡保健医療福祉行政事務組合 公立加美病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	7,804	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
39	49	88

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の枠組・ネットワークを軸に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域密着型病院として、大崎市民病院や近隣の病院、医師会等と連携を深め、郡内唯一の入院機能を有する医療機関として、主に回復期、慢性期、終末期医療等を提供するとともに、二次救急告示病院の役割も担っている。
また、併設する介護老人保健施設と連携し、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度から経常収支比率の数値が100%以上となり、単年度の収支が黒字だが、負担金・交付金での補填やコロナ関係補助金等での影響が大きい。
また、コロナ病床確保のため、病床利用率が目標値(80%)より低い状況にある。
依然、職員給与費対医療収益比率が平均値より高い割合を占めているため組織体制・制度等の見直しを図りながら、引き続き本業である医療収支の改善に努める。

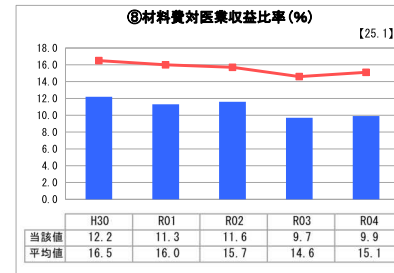
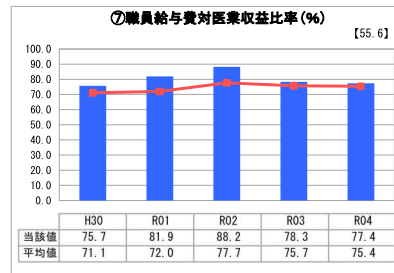
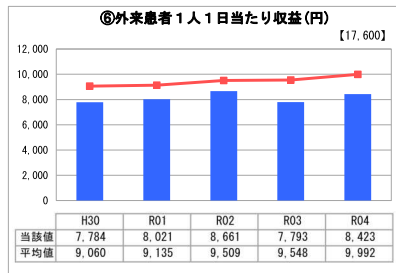
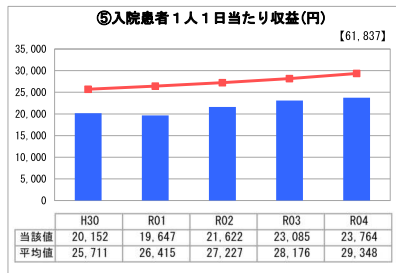
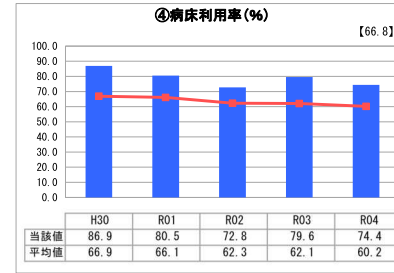
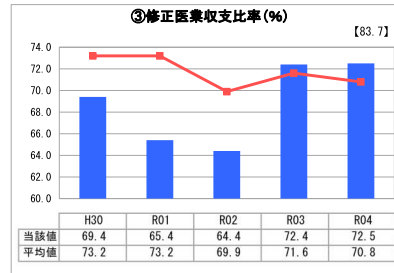
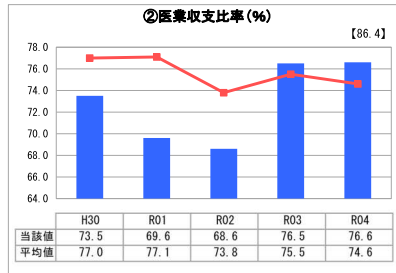
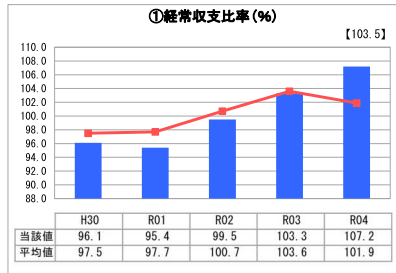
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が平均値を上回っている。病院の建設から20年が経過し建物の老朽化が進んでいるが、病院機能の維持のため、現状回復の修繕工事等を適宜行っている。
器械備品は減価償却率は平均値より下回ったが、費用対効果を意識しながら計画的な更新に努めていく。
1床当たりの有形固定資産の金額は平均を大きく下回っている。

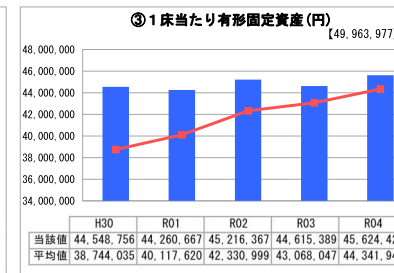
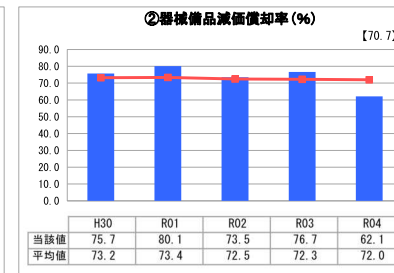
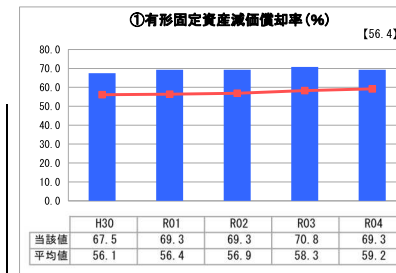
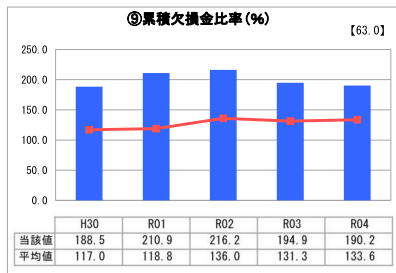
全体概括

地域医療構想を踏まえ、一般病床の病床機能分化（回復期）を進めながら、診療報酬における施設基準等を見直すことで、診療単価の増加を図る等の経営改善に努めたほか、国・県補助金を積極的に活用することで事業収益の黒字に繋がった。
今後も、持続可能な地域医療体制を確保しながら、地域における役割・機能の適正化と連携強化、働き方改革への対応・新興感染症の感染拡大時に備えた機能・整備など、引き続き経営改善に努めながら、安定的な病院運営に取り組む必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。